

レディーミクストコンクリート配合報告書

No. _____

平成 年 月 日

殿

日本工業規格表示認証工場
 製造会社名：株式会社 菅野 建材
 工場名： 庄和生コン
 TEL 048-746-8776 (代)
 配合計画者名 菅野 英記

工 事 名 称														
所 在 地														
納 入 予 定 時 期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日												
本配合の適用期間														
コンクリートの打込み箇所														
配 合 の 設 計 条 件														
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度			スランプ [°] 又はスランプ [°] フロー	粗骨材の最大寸法				セメントの種類による記号				
	普通	24			cm 21	mm 20				N				
指 定 事 項	セメントの種類	呼び方欄に記載			空気量				%					
	骨材の種類	使用材料欄に記載			軽量コンクリートの単位容積質量				kg/m ³					
	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載			コンクリートの温度				°C					
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法	A			水セメント比の上限値				%					
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載			単位水量の上限値				kg/m ³					
	水の区分	使用材料欄に記載			単位材量の下限值又は上限値				kg/m ³					
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載			流動化後のスランプ増大量				cm					
	塩化物含有量	0.30 kg/m ³ 以下												
呼び強度を保証する材齢	日													
使 用 材 料														
セメント	生産者名	住友大阪セメント株式会社			密度 g/cm ³	3.15	Na ₂ Oeq %				0.64			
混和材①	製品名				種類				密度 g/cm ³			Na ₂ Oeq %		
混和材②														
骨材	No.	種類	産地又は品名			アルカリシリカ反応性による区分	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 g/cm ³		絶 乾 表 乾			
	①	砕砂	栃木県佐野市仙波町			A モルタルバー法	5 以下	3.00	2.65		2.69			
	②	砂	茨城県稲敷市浮島			A 化学法	5 以下	2.10	2.52		2.58			
	③													
	④	砕石	栃木県佐野市閑馬町(2005)			A モルタルバー法	20 ~ 5	61.0			2.65			
⑤														
⑥														
⑦														
⑧														
⑨														
⑩														
混和剤①	ポゾリス 15SR			種類			AE減水剤 (遅延型 I 種)			Na ₂ Oeq %		1.4		
混和剤②														
混和剤③														
細骨材の塩化物量		② 0.001 %			水の区分			上澄水 地下水						
配 合 表 kg/m ³														
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤			
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	
327			191	592	243		917				3.92			
水セメント比		58.4 %		水結合材比		%		細骨材率		47.6 %				
備考				骨材混合比 (容積混合)		細骨材①:②		70.0:30.0						

コンクリート中のアルカリ総量計算書

配 合 の 設 計 条 件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランブ又はスランブフォーム cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	24	21	20	N
指定事項	セメントの種類	呼び方欄に記載		空 気 量	%
	骨材の種類	使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量	kg/m ³
	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載		コンクリートの温度	°C
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法	A		水セメント比の上限値	%
	骨材のアルカリ反応性による区分	使用材料欄に記載		単位水量の上限値	kg/m ³
	水の区分	使用材料欄に記載		単位セメント量の下限値又は上限値	kg/m ³
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスランブ増大量	cm
	塩化物物含有量	0.30 kg/m ³ 以下			
	呼び強度を保証する材齢		日		

配 合 表 kg/m³

セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
327			191	592	243		917				3.92		

アルカリ総量の計算表

アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc Rc = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oeq:%/100)	①=Rc 2.093	—	Rc = 327 × 0.64/100 = 2.093
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra Ra = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量:%/100)	②=Ra	—	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs Rs = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量:%/100)	③=Rs 0.001	—	Rs1 = 592 × 0.53 × /100 = 0.000 Rs2 = 243 × 0.53 × 0.001/100 = 0.001 Rs = Rs1 + Rs2 = 0.001
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm Rm = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量:%/100)	④=Rm 0.055	—	Rm = 3.92 × 1.4/100 = 0.055
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp Rp = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量:%/100)	⑤=Rp	—	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤	Rt 2.149	3.0 kg/m ³ 以下	適

備考